

實は或子方から日本着の帯を手に入れたとい
 と相談されましたので、まことに御迷惑だせ
 うが、叔母様、お世話下さりませうようにお願
 いいたしました。

其の方は二十八九の奥さんで、今度、着物
 をお作りになさるうで、其の着物の布地をお送
 りつたしますから、合ち小よくな帯をお見繕繕ひ
 下さり。此の布地の柄柄は余り似合似はななりりまます
 下さり、色が好きだと言つて居りました。帯は

訪問用のすか、余り金ピカ物は嫌ひで、四
 五十円、六十円止まりの品が欲しいといひ下
 向した米國育ちの方ですから、結結の方方は知知り
 ませんうで、御面倒御いせいか、そそちちららのの帯帯を
 結んで頂き、直直にに体体にに付付けけらられれまます、
 パートで作つて頂けなすか、胸胸ののササイ
 スス（お乳おのの大大ききなな所所）がが三三十十四四寸寸下下。此此の
 點、向向ととおお願願ひひりりたたししまます。

他に帯帯をを「結」結りり模模様様）をを一一本本、
（黄緑色）と一一本本、（帯不用）

十行 廿字詰

~~着物~~ 着物は 似合ふ 半^ズりそ一本、三品より中等
^カ 結^ハ構^ハひ了。 なる半^ズりり直に体に付^ケす
 れる様^ニ、セルロイド、綿^{ワタ}等^ノ形^ヲ作^リて頂
 きたく、これに襦^{ジュ}袢^{パン}の袖^{スベテ}を一對、お送り下^さ
 さいようお願^ヒひなさいました。 足袋、草履はこさ
 さいに有^リるとの事^ヲ御座^リました。

十行 廿字 詰